**のづけをめるときに**

◯をる

・れたところや、がついたところなどをにっておきましょう。

のりとののをっておきましょう。

やなど、れたものもにっておきましょう。

どのくらいのさまでがきたかがわかるように、などにっているのをりましょう。

あとでのおや「り」をもらうとき、にちます。

◯りとは

に、のがれたりついたりしたことをするためのです。

りがあると、れたをしたり、（・ガス・など）をくしてもらったりすることができるかもしれません。

カードをもうってもらうこともできます。

りをもらうまでに、１かかかることもあるので、めにできをしましょう。

◯づけるに

・

がれているかもれなので、ブレーカーをしましょう。

ブレーカーがちているとないので、にしましょう。

・ガス

のがガスいときは、ガスにしましょう。

ガスは、「ガス」と「プロパンガス」の２つあります。

ガスは、がきたとき、ガスがまります。

ガスが（＝にること）していたら、ガスメーターのボタンをすと、ガスがえるようになります。ガスがしているかは、ガスにしましょう。

プロパンガスは、ガスボンベがいているとき、ガスがているかもしれないので、ガスにしましょう。

・などへの

のが「」や「」というにっているときは、のにがったことをにして、のおをもらうことができるかいてみましょう。

アパートのは、さんにしましょう。

をするに、れたところや、がついたところなどのをって、やさん、をてたなどへしましょう。

よくわからないときは、くにいるやなどにしてください。

**家（いえ）の片（かた）づけを始（はじ）めるときに**

◯写真（しゃしん）を撮（と）る

・壊（こわ）れたところや、傷（きず）がついたところなどを写真（しゃしん）に撮（と）っておきましょう。

家（いえ）の周（まわ）りと家（いえ）の中（なか）の写真（しゃしん）を撮（と）っておきましょう。

自動車（じどうしゃ）や冷蔵庫（れいぞうこ）など、壊（こわ）れたものも写真（しゃしん）に撮（と）っておきましょう。

どのくらいの高（たか）さまで水（みず）がきたかがわかるように、壁（かべ）などに残（のこ）っている水（みず）の跡（あと）を撮（と）りましょう。

あとで保険（ほけん）のお金（かね）や「り災証明書（さいしょうめいしょ）」をもらうとき、役（やく）に立（た）ちます。

◯り災証明書（さいしょうめいしょ）とは

市役所（しやくしょ）に、自分（じぶん）の家（いえ）が壊（こわ）れたり傷（きず）ついたりしたことを説明（せつめい）するための紙（かみ）です。

り災証明書（さいしょうめいしょ）があると、壊（こわ）れた家（いえ）を直（なお）したり、公共料金（こうきょうりょうきん）（電気代（でんきだい）・ガス代（だい）・水道代（すいどうだい）など）を安（やす）くしてもらったりすることができるかもしれません。

在留（ざいりゅう）カードをもう一度（いちど）作（つく）ってもらうこともできます。

り災証明書（さいしょうめいしょ）をもらうまでに、１か月（げつ）以上（いじょう）かかることもあるので、早（はや）めに市役所（しやくしょ）で手続（てつづ）きをしましょう。

◯片（かた）づける前（まえ）に

・電気（でんき）

電気（でんき）が漏（も）れているかもれなので、ブレーカーを確認（かくにん）しましょう。

ブレーカーが落（お）ちていると危（あぶ）ないので、電力会社（でんりょくがいしゃ）に相談（そうだん）しましょう。

・ガス

家（いえ）の中（なか）がガス臭（くさ）いときは、ガス会社（がいしゃ）に連絡（れんらく）しましょう。

ガスは、「都市（とし）ガス」と「プロパンガス」の２つあります。

都市（とし）ガスは、災害（さいがい）が起（お）きたとき、ガスが止（と）まります。

ガスが復旧（ふっきゅう）（＝元（もと）に戻（もど）ること）していたら、ガスメーターの復旧（ふっきゅう）ボタンを押（お）すと、ガスが使（つか）えるようになります。ガスが復旧（ふっきゅう）しているかは、ガス会社（がいしゃ）に確認（かくにん）しましょう。

プロパンガスは、ガスボンベが動（うご）いているとき、ガスが出（で）ているかもしれないので、ガス会社（がいしゃ）に連絡（れんらく）しましょう。

・保険会社（ほけんがいしゃ）などへの連絡（れんらく）

自分（じぶん）の家（いえ）が「火災保険（かさいほけん）」や「建物共済（たてものきょうさい）」という保険（ほけん）に入（はい）っているときは、家（いえ）の中（なか）に水（みず）が入（はい）ったことを保険会社（ほけんがいしゃ）に連絡（れんらく）して、修理（しゅうり）等（など）のお金（かね）をもらうことができるか聞（き）いてみましょう。

アパートの場合（ばあい）は、大家（おおや）さんに連絡（れんらく）しましょう。

家（いえ）を修理（しゅうり）する前（まえ）に、壊（こわ）れたところや、傷（きず）がついたところなどの写真（しゃしん）を撮（と）って、保険会社（ほけんがいしゃ）や大家（おおや）さん、家（いえ）を建（た）てた会社（かいしゃ）などへ連絡（れんらく）しましょう。

よくわからないときは、近（ちか）くにいる日本人（にほんじん）や市役所（しやくしょ）などに相談（そうだん）してください。